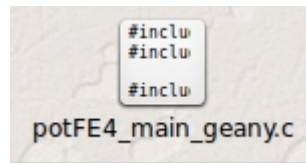


1.6 Geany で C プログラムを

フォルダ GTK の内部にあるフォルダ gtk_geany_potFE4_20120330 に注目する。

フォルダ gtk_geany_potFE4_20120330 の内部には次のようなファイルがある。

メインプログラムは

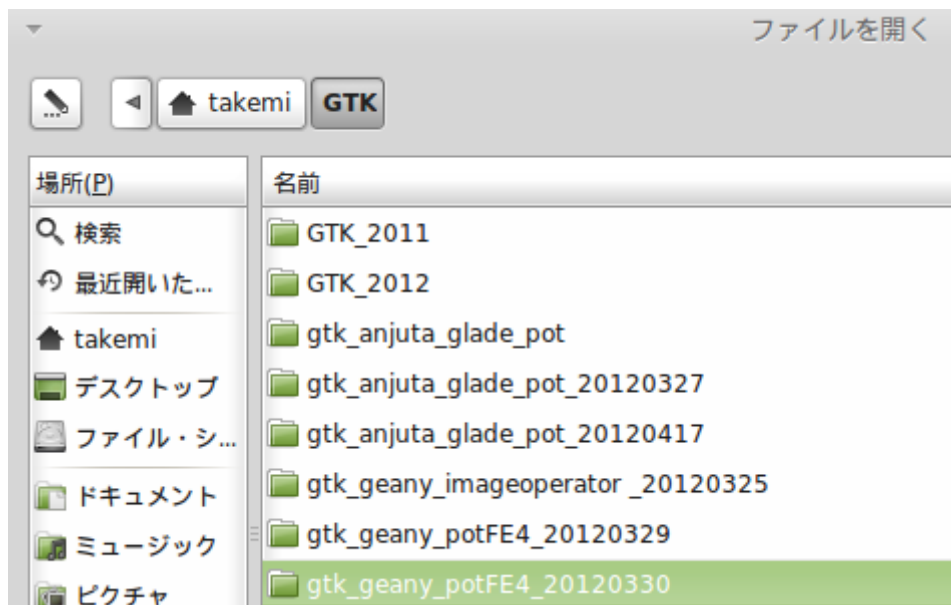


Geany は前節までに取り上げた IDE のように Designer を持っていないので、メニューについてはユーザが用意したものを使用する。

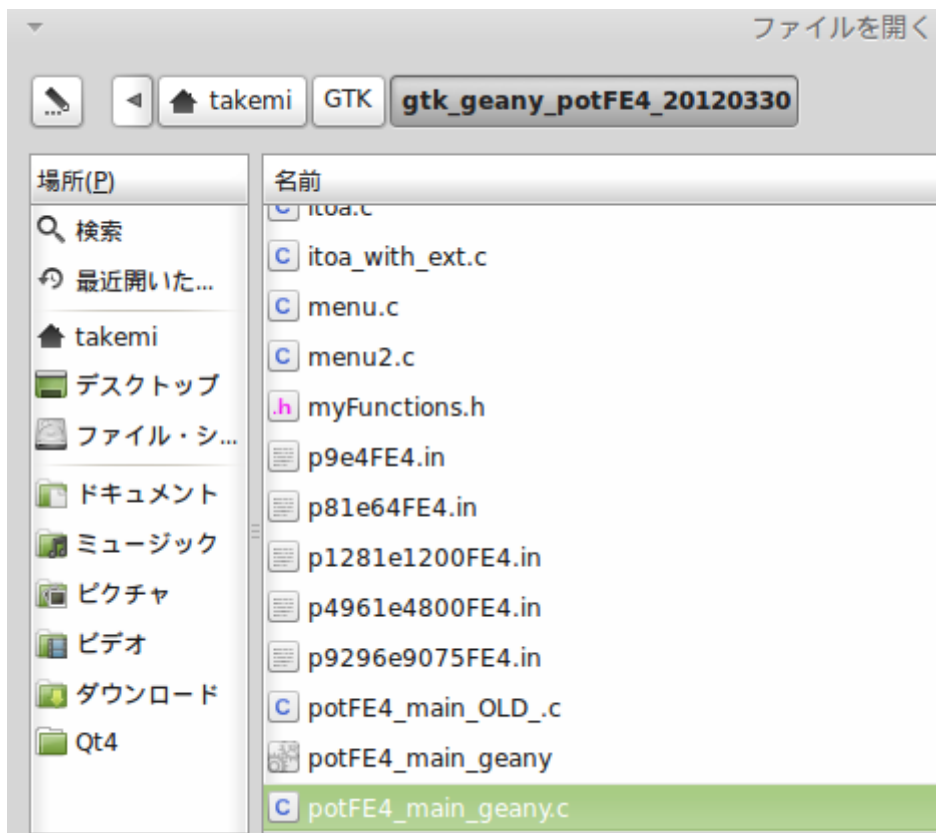


Geany の起動

開く(O)でまずフォルダ gtk_geany_potFE4_20120330 を開く。

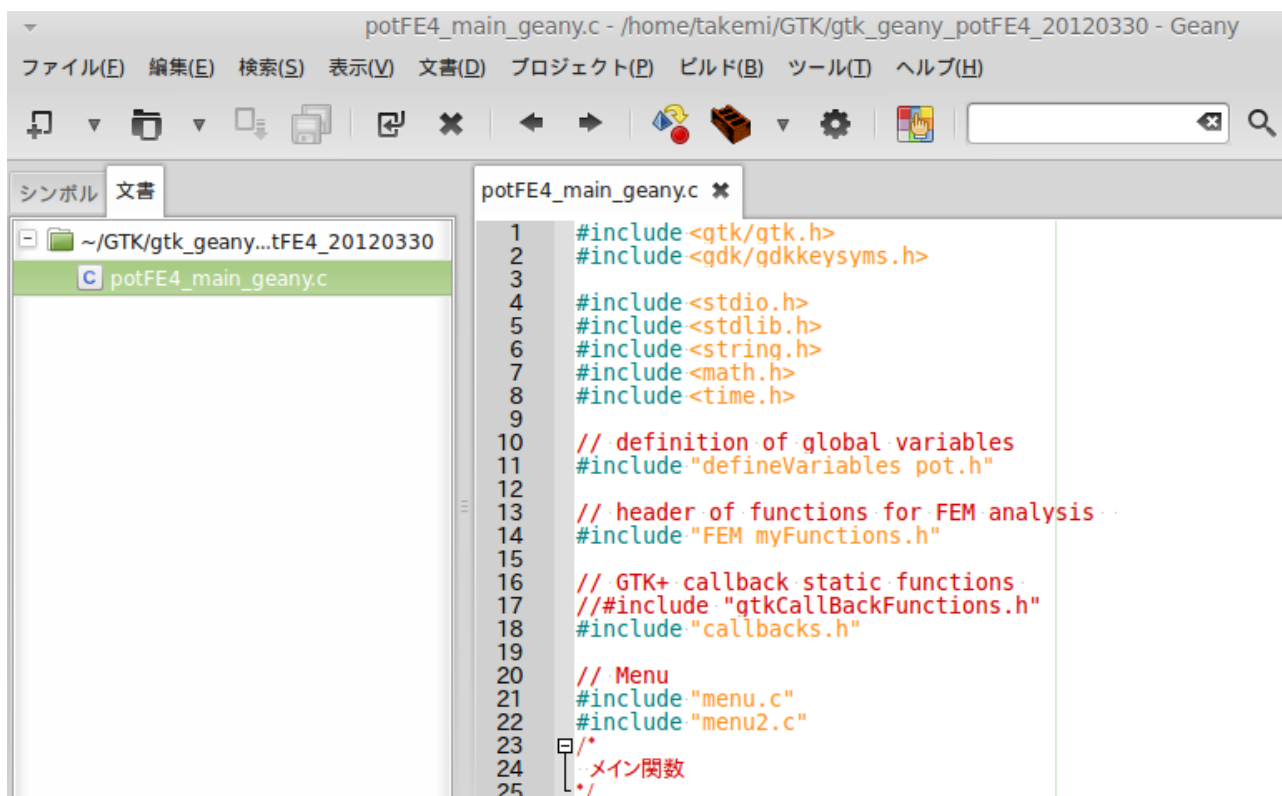


ダイジェスト版



メインプログラムを選択して OK ボタンを押す。

ダイジェスト版



```
1 #include <gtk/gtk.h>
2 #include <gdk/gdkkeysyms.h>
3
4 #include <stdio.h>
5 #include <stdlib.h>
6 #include <string.h>
7 #include <math.h>
8 #include <time.h>
9
10 // definition of global variables
11 #include "defineVariables pot.h"
12
13 // header of functions for FEM analysis
14 #include "FEM myFunctions.h"
15
16 // GTK+ callback static functions
17 // #include "gtkCallBackFunctions.h"
18 #include "callbacks.h"
19
20 // Menu
21 #include "menu.c"
22 #include "menu2.c"
23
24 /*
25  * メイン関数
26  */
```

ここで GTK を使うためにビルドコマンドを次のように書き換えなければならない。



ビルドコマンドを設定をクリックして、コンパイル コマンドを次のように書き換える。

| ビルドコマンドを設定 | | |
|-----------------------|----------|---------------------------|
| # | ラベル | コマンド |
| C ソースファイル コマンド | | |
| 1. | コンパイル(C) | gcc "%f" -o "%e" `pkg-cor |
| 2. | ビルド(B) | gcc -Wall -o "%e" "%f" |

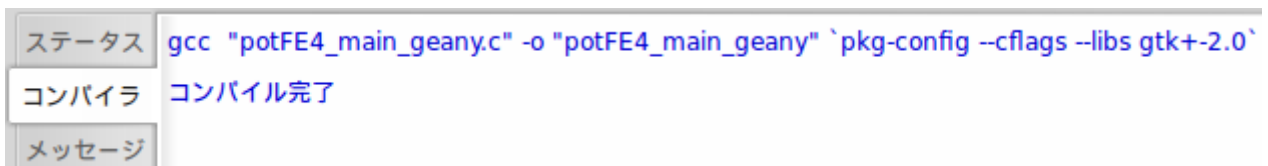
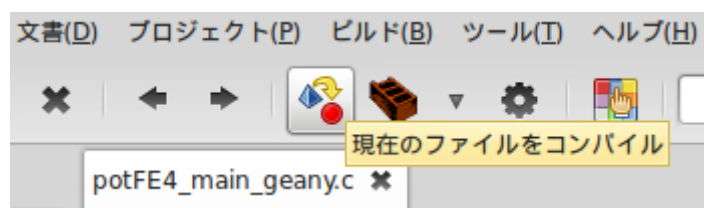
ダイジェスト版

変更前のコマンド `gcc -Wall -o "%e" "%f"`

変更後のコマンド `gcc "%f" -o "%e" `pkg-config --cflags --libs gtk+-2.0``

この書き換えは Geany をダウンロードした場合に一回だけ必要。

メニュー「ビルド」のメニューアイテム「コンパイル」を選択するか、次のようにしてもプログラムをコンパイルすることができる。

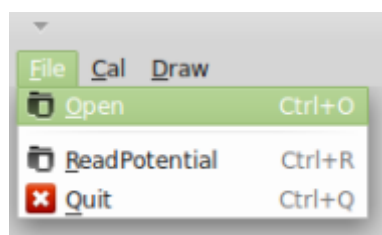


コンパイル完了後はメニューアイテム「実行」を選択するか、次の操作を行う。



するとプログラムが立ち上がる。

ファイルメニューから計算用のファイルを読み込む。



ダイジェスト版

データ入力が終われば計算を実行することができる。

計算が終了すれば、計算結果を保存することもできる。

計算結果の図形表示は次のファイルメニューで行う。

図形表示の例示

